

『世界へのプレゼントになろう』 Be a gift to the world

RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン 第2590地区ガバナー 箕田 敏彦



川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2015~2016

会長・市川 功一 幹事・会田 公雄 会場監督・高瀬 建夫 会報委員長・戸張 裕康

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 木曜日 PM12:30~(第2週 AM7:30~)TEL:044-711-8855(東横線 武蔵小杉駅徒歩3分)

第1344回 (本年度27回)

平成28年2月4日(木)

ドイツ大使館訪問 移動例会

点 鐘 市川 功一 会長

司 会 高瀬 建夫 会場監督

会員出席報告 徳安 久是 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	26名	16名	10名	76.19%
前々回(1月21日)	欠席6名		Make up 1名	100%

欠席者：小泉会員、山本会員、工藤会員、江口会員、今井会員

お客様紹介 市川 功一 会長

Dr.Hans Carl von Werthern (ハンス・カール・フォン・ヴァーテルン) 様
(ゲストスピーカー・駐日ドイツ連邦共和国大使)

平山 正義 様 (横浜戸塚RC)

出川 修治 様 (横浜山手RC)

クルーズ 由美子 様 (川崎北RC)

東出 隆裕 様 (戸張会員ゲスト)

坂本 耕一 様 (小林会員ゲスト)

原 正子 様 (原会員 令夫人)

市川 芳子 様 (市川会員 令夫人)

河合 政子 様 (河合会員 令夫人)

徳安 恵子 様 (徳安会員 令夫人)

山田ハツイ様 (山田会員 令夫人)

丁 中斐 様 (米山奨学生)

岩木みずず様 (R 青少年交換学生・派遣国ドイツ)

本日のミニ情報 市川 功一 会長



ドイツのロータリークラブは日本とは逆で会員数が増加しているそうです。2003年から2013年の10年間に1万1千人増加しました。27%増です。2019年の国際大会はドイツのハンブルクで行われることが決まっています。中原RCからは先ほどご紹介しました青少年交換の留学生がドイツに留学に行くことになっています。これからドイツとのつながりが強くなっていくと思います。

卓話 Dr.Hans Carl von Werthern 駐日大使

「ドイツとEUにおける難民の状況」



本日はドイツ大使館にお越しいただきありがとうございます。また、難民支援に対する寄付金をいただき、ありがとうございます。ドイツの難民を支援する組織にお渡しいたします。皆さんのお手元にドイツのロゴマークの入っているエコバックが配布されておりますが、中には雑誌も入っており難民についても書かれてあるので、興味を持っていただけたらご覧になってください。

皆様が来られた今日は特別な日でございます。ご存知かもしれませんが、今ドイツは謝肉祭の時期であります。にぎやかなお祭りなのですが、金曜日から始まり、その前日の木曜日は女性と謝肉祭となっていて、女性のパワーを披露する日になります。そのしるしとして、女性は大きなはさみで男性のネクタイを切るのです。私のネクタイも切られました。でも皆さんご安心ください。来館のゲストの皆様は大丈夫です。

ドイツだけで昨年流入した難民数は約100万人

本題に入りたいと思います。日本でも難民問題については広く報道されています。昨年はドイツを目指して旅だった人々、ドイツが受け入れた人々の人数は百万人に達しました。これはドイツのもとの人口の1.3%にあたります。日本の人口に換算すると1年で130万人を受け入れたのと同じ比率です。今までも難民はありましたが、1年でこれだけの人数が来たのは初めてで、これからもこの状況は続くと思われま。なぜ昨年突然これだけの難民がヨーロッパ、とくにドイツを目指しているのでしょうか。3つの理由が挙げられると思います。1つは出身国の状況がこの1年で著しく悪化した。シリアでは内戦がますます激化して平和会合が行われるまでは、内戦が収まる見込みがなかったのです。また、シリアの隣国のリビア、トルコ、ヨルダン等も難民を受け入れているが、難民を支援するための財源が少なくなった、また隣国自体の状況が悪化した、そういった理由で一時的に隣国が受け入れた難民も、ヨーロッパそしてドイツに移動しています。2つ目の理由は中近東だけではなく、北アフリカや南スーダンなどに地域でも

状況が悪化したのでそちらの地域からも多くの難民がドイツを目指しているのです。3つ目の理由は、ドイツは比較的安定した国だということです。ドイツならば仕事も手に入るだろう、また社会保障制度も充実していますのでそういう理由からもドイツを目指しています。ニュースなどでもわかるように、ドイツ国内では激しい議論が行われています。ドイツはどこまで受け入れ能力があるのか、何人までなら受け入れられるのかどのように準備するのか、行政上でどこが限界なのかということに関して意見交換がされています。難民がドイツにくると、人間らしい住まいを提供しなければなりません。子供の教育も提供しなければならない、医療サービスも提供する必要がある等…。

非常に残念なことです、排他的な考えを持っている人もいますが、それは受け入れることができません。



なぜ「私たちには（難民流入をめぐる状況を）克服できる」のか

私たちは数百年を通じての経験を持っています。ほとんどの家族でどこかの時代で、迫害を受けるなどの経験をしています。ナチ時代や終戦になって移動した人々がいます。難民であることがどういうことであるか知っています。何世紀も前から人口流入や難民の歴史を経験し、結果としてドイツを豊かにしてきました。

私たちが独力では「克服」できない

しかし、ドイツだけではこの問題は解決できません。ドイツはヨーロッパの公平な負担分担のため、拘束力ある割当制を求めています。また、難民発生の原因となっている諸問題を解決することが何より大切です。



日本は地理的に見て難民問題から離れていると感じるかもしれませんが、そうではありません。地理的には島国でも、政治的に独立している島国はあり得ません。例えば北朝鮮から難民が来るかもしれません。そうなったら日本はどうするのか、今のうちに考えておいた方がいいかもしれません。

ニコニコ報告 徳安 久是 親睦委員

平山 正義 様（横浜戸塚RC）

本日はお邪魔します。ウェアテル駐日大使のお話も大変楽しみです。

出川 修治 様（横浜山手RC）

横浜山手RCから参りました出川です。インターナショナルロータリーとは承知していても、本日初めてインターナショナルを体験できるのを楽しみにしております。山田様 どうもありがとうございます。



市川 功一 会長 会田 公雄 幹事

今日は2度目のドイツ大使館での移動例会です。大使のお話を楽しみにしております。また、この夏には青少年交換学生の岩木さんがドイツに行くこともあり、これを機に交流が広がれば幸いです。

徳安 恵子 様

今日はありがとうございます。楽しみにしてまいりました。

小林 正樹 会員

本日は坂本先生をお連れいたしました。よろしく願いいたします。

SAA一同

天皇陛下は70歳以上のドライバーに義務づけられている自動車運転免許の高齢者講習を受け、皇居内でテニスや散歩に出かける際は皇后様を助手席に乗せて自ら運転し、しかも愛車が1991年式の古い車であるという。我々庶民と同じような生活をしている一面があるのだと知り、一気に親近感が湧きました。

親睦委員会一同

今日のドイツ大使館訪問、多くの皆さんにご参加いただき、嬉しい限りです。

「みんなニコニコ」

山田 一之 会員・仁上喜久夫 会員・原 秀元 会員
宮崎 玲児 会員・高木謙太郎 会員・戸張 裕康 会員
河合 東 会員・神谷 直 会員

ニコニコボックス	本日	20,000 円	累計	511,000 円
記念日ニコニコ	本日	0 円	累計	70,000 円

次回2月18日（木）の予定

移動例会 職場訪問 東京ドーム 世界らん展